

弘前高等学校第1学年探究ミニ課題研究 課題一覧(「あおり創造学」プロジェクト事業)

- ・ 多くの影響をもたらすカラスの被害を減らし、住みやすい街を作る
- ・ ペット購入の際に保護動物の飼育を視野に入れてもらうとともに青森県の保護動物数を減らす
- ・ 弘前市の文化財を有効活用できないか
- ・ 食事の面から青森の平均(健康)寿命を延ばす
- ・ 弘前のゴミを有効活用する
- ・ 鉄道のアイスバーンを解決する
- ・ 青森県の寒さをウォーキングで解決する・地域との交流の足掛かりにする
- ・ 弘前高校の食堂で青森県産のホタテを使った新しいメニューを考える
- ・ 若者に方言(津軽弁)の常用を促す
- ・ 健康寿命を伸ばすために目を大切にする
- ・ 高齢者と小学校や中学校で使い終わった教科書を使い絵本を作り小さい子たちに読み聞かせることで地域間でも関わりを作る
- ・ ペットボトルの蓋を回収してリサイクルする
- ・ 教室の二酸化炭素濃度を窓を開けずに少なくすることはできないか
- ・ 青森県の死亡率を下げる
- ・ 健康寿命を伸ばすために美味しく減塩する方法を考える
- ・ 地元では有名だけど知られていないものを広められないか
- ・ 使わなくなった教科書を有効活用できないか
- ・ 青森への移住者を増やしなが、青森の若者にずっと住みたいと思わせる
- ・ 農業の高齢化を、体験活動を通して若者に興味を持ってもらうことで解決する
- ・ 弘前市の除排雪に関する問題を現状より改善し、市民が快適に生活できる
- ・ チョークの粉からもう一度チョークを作る
- ・ 青森県の短命を減らす
- ・ あまり知られていないと思われる観光地をリニューアルする
- ・ 青森の冬季の魅力を伝える
- ・ 青森の人口減少を改善しよう
- ・ 早死にしやすい青森県の人を健康的な体にする
- ・ 青森県の冬季の魅力を身近なものにしよう
- ・ ゴミを有効活用して、自然と環境に配慮する
- ・ 学校で使用されるチョークを再利用し「作る責任、使う責任」を意識した学校をつくっていく
- ・ 空き家を解体し、ねふたや廃材アートに再利用する
- ・ 青森県のクマの出没や熊による被害を減らせないか
- ・ 捕殺された熊を食料として普及させる
- ・ 雪によって起こる交通の問題や、除排雪の問題を解決する
- ・ 年間捨てられている貝殻をどうにかして再利用できないかできないか
- ・ 弘前の雪道に着目し、快適なものにするために弘前市と提携した活動をする(雪を利用しクリーンエネルギー)
- ・ 弘前市で冬に路上に雪が出ていて歩行者などが危ない
- ・ 青森県民の塩分の過剰摂取を減らし平均寿命を伸ばす事ができるか
- ・ 青森県の平均寿命を上げる
- ・ 田舎館村の埋もれている良さを発掘し、田舎館村を住んでみたいと思われる村にする
- ・ 弘前のゴミの排出量をどうすれば減らせるか
- ・ 若者と大人の交流の機会を増やせないか
- ・ 地域の活性化と雪への対策
- ・ 青森県で大量に廃棄されているホタテをどうにかして再利用できないか
- ・ 弘前市の財政を観光業で改善する
- ・ ゼロカーボンを実現できないか
- ・ 冷暖房にかかるエネルギーの削減を通し、SDGsに貢献する
- ・ 青森県の冬の魅力を増やす
- ・ りんごの廃棄を減らす取り組みについて考える
- ・ 実は、リサイクル率を下げている生ゴミをリサイクルする方法を授業の一環で行うことで、リサイクルについての知識を増やすことができるのではないか
- ・ 歴史的な文化財のこれからの使い方
- ・ 短命県であることを適正な量の小分け調味料で解決し、さらに県内の経済活動も活発にする
- ・ チョークからできた融雪剤でエコな融雪ライフを過ごせないか
- ・ 小中高生の農業体験により、農業の人手不足を補う(今回はりんごとする)
- ・ ゴールデンウィークに来る観光客に満開の桜を見せるには
- ・ デジタル化の進む今、目から健康被害を防ぐ
- ・ 空き家解体で発生した木材を有効活用できないか
- ・ 雪解け水から飲料水を作るという利雪をできないか
- ・ 健康寿命を延ばす、おいしく塩分過多の解消
- ・ 青森を小中高生のりんご農業の体験をもとに活性化させる

- ・ 田舎館に人を呼び込むためにライスフェスタを開催する
- ・ 田舎館村の人口減少を解決する
- ・ 弘南鉄道の維持費削減、定期利用者の獲得、観光目的の利用者を増やす
- ・ 青森県の冬季の魅力を増やせないか
- ・ 健康寿命を伸ばすために美味しく減塩出来る方法を考える
- ・ 免許返納しても大丈夫なように社会設備を整備する
- ・ 青森県の平均寿命を高くして、健康意識を高める
- ・ 青森県のワーストの順位を一個でも多く脱出する
- ・ 企業から生ごみを回収してチョコレートなどの製品にし、公共施設などに配る
- ・ ホタテの貝殻を使いチョコレートや肥料などさまざまなものに役立てよう
- ・ SDGsのためにみんなで協力できるまちづくり
- ・ 弘前市のゴミ問題を解決できないか
- ・ りんごの廃棄処分を、食とエネルギーの観点から減らすことを考える
- ・ ニュースでよく聞く除雪中に怪我をする高齢者について
- ・ 自学自習の意識を向上するために勉強時間の共有をすることで、勉強へのモチベーションが上がるので
- ・ 中国に輸出していた分のホタテをどう消費するか
- ・ ホタテの殻をどうやってリサイクルするか
- ・ 青森県の雪解け水を飲めるようにし、販売する
- ・ 植物を置くことで二酸化炭素濃度を減少させ、冷暖房費を削減できるのか
- ・ クマによる被害を減らす、クマの出没を減らす
- ・ 短いチョコレートやチョコレートの粉とホタテの貝殻を利用して新たにチョコレートを作り、資源の無駄をなくす
- ・ 弘前市の財政難をサイトを作って改善する
- ・ 若者の県外流出を食い止める
- ・ 運動不足の改善、不登校や自殺率の減少のために、青森県民の意識を高める
- ・ 落ち葉やクズ野菜を環境保護に有効活用できないか
- ・ 津軽弁使用者の減少を津軽弁のクイズで津軽弁を広めて解決する
- ・ 短くなったチョコレート、チョコレートの粉を再利用して費用を削減
- ・ りんごを通して交流の多い町にする
- ・ 津軽の伝統工芸品を存続する
- ・ 協力するために意見を出しやすくするにはどうすれば良いか
- ・ ホタテの貝殻の再利用方法として消毒液をつくる
- ・ 余っているホタテの消費を助ける
- ・ 使い終えた教科書が余り、もったいないのでそれを再利用し、絵本を作る(幅広い年代との交流のため高齢者の人と絵本を作り、幼稚園や保育園で読み聞かせする)
- ・ 大量に捨てているチョコレートの粉などを有効活用できないか、道路の凍結などをうまく解決することはできないか
- ・ ペットボトルキャップの回収によって無駄を減らし、ワクチン等で貧困層へ少しでも貢献する
- ・ 青森県の大量に余っているホタテを減少させるには
- ・ どうすれば健康寿命を伸ばせるか
- ・ 弘前市には興味深い観光地が多いが、アピール不足であまり注目されていない
- ・ 視力低下による問題と、その対策について
- ・ りんごGXについて
- ・ 捕殺された熊を料理として広められないか
- ・ ペットボトルのキャップを集める
- ・ 弘前の財政難をサイトを作って改善し、弘前の魅力を発信する
- ・ 青森のりんご産業における、カーボンニュートラルを達成し、地球温暖化解決に寄与する
- ・ 弘前のりんご農家を増やしていく
- ・ 弘前公園の桜をゴールデンウィークに咲かせて、観光客を呼び込み、経済をうるおす
- ・ 青森県全体のQOLを上げる(健康増進意欲の高い街づくり)
- ・ 減塩の調味料を使う
- ・ 伝統工芸品の存続のために市民や外国人を対象としたポスターを作る
- ・ 頻繁に燃やされているりんごの剪定枝を再利用する
- ・ 市の交通手段を拡大できないか
- ・ 青森県のゴミ排出量を減らす方法を家庭と企業観点からの
- ・ 青森県が短命県である原因の生活習慣病や低所得を改善するためには何が出来るか
- ・ 雪の問題を解決する
- ・ 青森県のごみの排出量を減らしたり、リサイクルなどで再活用するための対策を考え解決する
- ・ 今日の弘前市ないの財政が厳しい物になっており財政力指定が0.5を下回っていることを解決する
- ・ 廃棄となるりんごの皮と芯をどのように活用すればよいか
- ・ 若者に興味を持ってもらえるようなプロジェクトはないか
- ・ 室内の二酸化炭素濃度を経済的に下げる
- ・ 津軽弁を小さい頃から触れて受け継いでいく
- ・ チョコレートの粉からチョコレートを作る

- ・ 中国の輸入規制で減ったホタテの消費量を増やすために食堂で新メニューを考える
- ・ 弘前公園の桜をゴールデンウィークに咲かせ、観光客を増やして経済を発展させる
- ・ 生ごみを燃えるゴミと分け、堆肥化することでリサイクル率を上げられないか
- ・ 青森県に来る人が観光では無く、定住目的で来るようにする
- ・ 学校のチョークの粉でもう一度チョークを作る
- ・ 小分け調味料を使う
- ・ 方言を若者にとって身近なものにする
- ・ 青森県短命県返上の取り組みとして食生活の改善を促す
- ・ 農家の高齢化と減少を食い止める
- ・ 健康寿命を伸ばすために、美味しく減塩出来る方法を考える
- ・ 平均寿命を長くするために、検診受診率の低さ・運動不足を改善する
- ・ 筋トレをすることで青森県民をより健康にできないか、幸せにできないか
- ・ 自分のクラスの自習時間を増やせないか
- ・ 青森県と都市との教育格差を、人々同士の交流や情報交換によって解決する
- ・ 保護動物の譲渡数を増やしたい
- ・ ゼロカーボン、カーボンニュートラルをりんごで実現
- ・ 津軽弁を若者や観光客などに広める
- ・ 青森県の交通の手段や量が少なく、一つの手段に依存してしまっているのを解決する
- ・ チョークから融雪剤の成分を作り出し線路などの踏切に撒く
- ・ カラスによる騒音被害やゴミ荒らしをどのように解決するか
- ・ ねぶた村の拡張、弘高ねぶたの廃材の活用
- ・ 捨てられるチョークの粉から再生チョークを作れるか
- ・ 弘南鉄道の赤字や利用者の減少を止めるためのアイデアを考える
- ・ 日本一なのにあまり知られていない名産品を広めて風化を防ぐ
- ・ 輸出できない帆立の活用法
- ・ 青森県の隠れた名産品をPRする
- ・ 学級の学習意識を高める
- ・ 熊の捕殺量増加を活用して調理し地域に活かす
- ・ ネブタ村の事業を拡大したり、新しいもの考える
- ・ 青森県の熊による被害を減らすために、熊の出没を減らせられないか
- ・ 剪定枝を燃やさずに処理するには
- ・ 生ゴミを堆肥化して再利用する
- ・ チョークの粉を再利用する方法はないのか
- ・ 津軽弁文化の継承
- ・ 青森県の寿命が短く、幸福度も低いことが課題を筋トレで解決する
- ・ 青森県に観光に来る人だけでなく、定住する人を増やすために裏スポットや若者向けの事業の展開を考
- ・ 健康寿命を目を守ることでのばす
- ・ 落ち葉を活用できないか
- ・ 交通面で不便な高齢者を救いたい
- ・ チョークを融雪剤に錬金する
- ・ 雪による被害を減らすためのボランティア活動について
- ・ 若者から消えつつある津軽弁を身近なものにする
- ・ 絵本が幅広い年代の架け橋とならないか
- ・ 青森の大量の雪を飲料水として利用できないか
- ・ ゴミ拾いなどでカラスなどの鳥獣の被害を減らし、SDGsに繋げる
- ・ チョークの粉や折れて短くなったチョークを再利用することでチョークを買う費用などを抑えることができるのではない
- ・ ゴミを減らして環境に優しい暮らしができないか
- ・ 青森県の交通手段を増やして過疎化を防ぐ
- ・ 落ち葉を拾い、農家へ提供し、その収入を募金へ
- ・ 弘前高校の中に分別ボックスを設置してペットボトルの蓋と紙パックを集めてリサイクルに出す
- ・ SDGsの目標達成のために自分の意見を持ち、発表(生かす)できるようになるには
- ・ 弘南鉄道の廃線危機を新しいシステムの導入などにより防ぎ、地域の活性化につなげる
- ・ 青森県の人口が減らないためにはどのような取り組みをすれば良いか
- ・ 青森県の空き家問題と資源の有効活用を同時に達成するのにねぶたを活用できないか
- ・ 衰退しつつある地域の伝統工芸品(津軽塗)を多角的な視点で復興を目指す
- ・ 生ゴミをリサイクルする
- ・ 弘前市のゴミ問題を解決する
- ・ 地域の人とウォーキングイベントを開催したい
- ・ 青森県の交通機関を増やして過疎化を防ぐ
- ・ 青森県で主に挙げられる「運動不足」と「不登校、自殺率が多い」という全国でワーストの課題を解決する
- ・ りんご畑で燃やされる剪定枝を減らす

- ・ 意見を発表しやすい環境を作る
- ・ 桜がゴールデンウィークに咲くよう桜が感じる温度を平均として10度から7度に下げる
- ・ ホタテの貝殻や短いチョークからチョークを作る
- ・ 過疎化による余った土地、雪を資源として活用するにはどうしたら良いかについて
- ・ 廃棄されるペットボトルキャップを回収し、発展途上国へのワクチン支援へと活用できないか活用できない
- ・ 県内・外の若者に向けて、青森の良さを知ってもらうためにPRする
- ・ 増加する保護動物の飼い主を増やして保護される頭数を減らす
- ・ 熊の出没を減らす
- ・ ペットボトルの蓋、紙パックを捨てずにリサイクル
- ・ 青森のりんごの廃棄処分量を減らす
- ・ 弘前高校内で出るペットボトルのふたや紙パックをリサイクルできないか
- ・ 青森県の平均寿命が短いこと
- ・ 弘前市の雪被害を減らしつつ楽しむ
- ・ 弘前の文化財を活用できないか、あるいは観光客に弘前の魅力をどうやって知ってもらうか
- ・ 青森県の保護犬・猫の受け入れ数を増やせないか
- ・ 弘前市の道路の雪をなるべくなくす
- ・ 青森県の健康寿命を食生活を改善して伸ばす
- ・ 青森県の名産品で知られていないものを行政などの協力で催し物を開催する
- ・ 弘前市の除雪が不十分であり、それを解決する方法
- ・ りんご剪定枝の有効活用
- ・ 青森県の交通手段を増やして過疎化を防ぐ
- ・ 都会と田舎の教育格差の解消
- ・ 伝統工芸品を盛んにする
- ・ 分別されないペットボトルキャップの数を調べて、弘前高校の現状を知らせ、この問題にどう取り組んでいくかを考える
- ・ カラスの被害をなくすために
- ・ 短命県であることを解決しつつ、経済の発展を見込めないか
- ・ 弘前市の交通量の少なさを解決する
- ・ 弘前市のごみをもっと減らすことは出来ないか
- ・ 弘前は交通手段が少なく、一つの交通手段に依存している問題を解決できないか
- ・ 学習意識が低いことからLINEを活用した学習意識向上の取り組み
- ・ 地域の活性化と雪への対策
- ・ 青森県産ホタテを高校の食堂で食べてはどうか
- ・ 青森県で困っている人が多い雪を有効活用できないか
- ・ 除雪における事故を減らすために私たちができることは何か
- ・ 農業の高齢化を解決する
- ・ 雪の捨て場が一般家庭の近くにない、ということ解決できないのか
- ・ 田舎館を住みやすいと思われる村にする
- ・ ゴミを減らす対策と利用する対策を考え、さらにそれを企業でできる対策と家庭でできる対策に分ける
- ・ 青森県が短命県といわれるのからなんとか脱出できないか
- ・ ランキングでワーストをとったものを脱出するためには何が必要か
- ・ りんごの廃棄料を減らす
- ・ 青森県の廃材を有効活用できないか
- ・ 弘前市の文化財を有効活用する
- ・ 津軽弁の継承を促進する
- ・ 無駄に捨てられるりんごをジャムにしたりして利用する